

# 岡山市のプロフィール

平成26年12月12日



# 岡山市のプロフィール

□人口 714,583人(平成26年10月1日 岡山県毎月流動人口調査)

- ・平成22年度の国勢調査時点で、709,584人
- ・人口増加率(H17~22)1.93%は中四国主要都市の中で最も高い(参考)広島市1.69、倉敷市1.31

□世帯 313,371世帯(平成26年9月末)

□面積 789.92km<sup>2</sup>

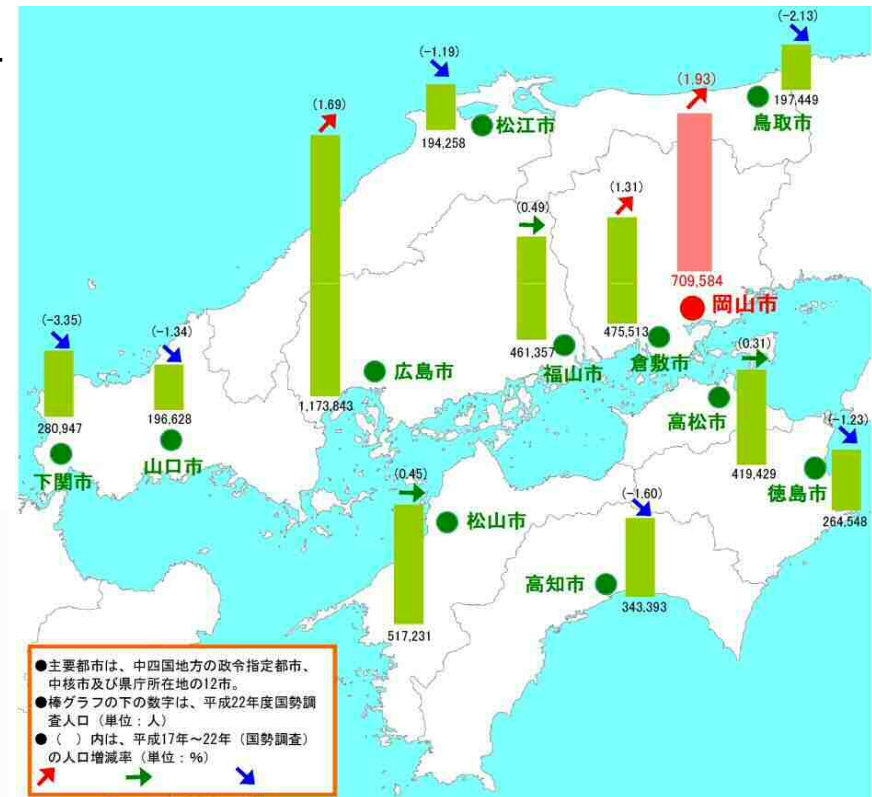
- ・東端から西端までの長さ 35.1 Km
- ・南端から北端までの長さ 47.8Km

□土地利用の概況

- ・全市域面積の約78%を山林や農地等の自然的な土地利用が占める



中四国主要都市の人口と増減率



資料:平成22年国勢調査

# 岡山市のプロフィール

## □地勢

- ・旭川と吉井川が瀬戸内海に注ぐ岡山平野の中央に位置
- ・南部は地味豊かな沃野、北部は吉備高原の山並み

## □気候

- ・温暖な瀬戸内海特有の風土
- ・快晴の日が多く、台風や雪の影響が少ない

## □晴れの国おかやま

降水量1ミリ未満の日が日本一多い

## □少ない地震

過去50年間の地震回数は全国平均の3,176回と比べ、778回と少ない

## □良質な水

- ・水量豊富な河川が市内を流れ、水不足の心配がほとんどない
- ・岡山市の水道水は、安全でおいしい水として知られている

## □特産品

- ・白桃、マスカットなどの果物(フルーツ王国・岡山)
- ・鱈、ままかりなどの瀬戸内の新鮮な海の幸

降水量1mm未満の日の平年値 (1981-2010)



気象庁HPより

過去50年間 (1963-2012) の地震回数



気象庁HPより

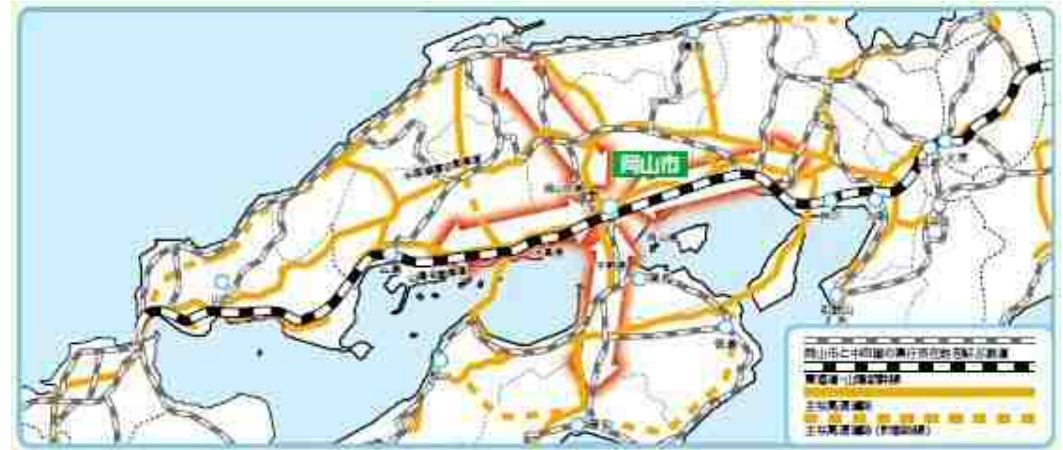


# 岡山市のプロフィール

～中四国のクロスポイント～

## □鉄道

- ・JR岡山駅には、すべての新幹線が停車し、東京、名古屋、大阪、福岡等の主要都市からのアクセスに優れる
- ・在来線は7路線が乗り入れ、四国、山陰への玄関口



## □空路

- ・国内3路線(東京、札幌、那覇)
- ・国際3路線(ソウル、上海、グアム)
- ・市中心部から空港までは車で25分の距離
- ・無料駐車場2, 889台

## □高速道路

- ・西日本を東西に貫く山陽自動車道と、日本海から太平洋に至る中国横断自動車道・瀬戸中央自動車道が交差

## □岡山の歴史と文化の3大テーマ

### ①古代吉備の繁栄

- ・ 全国第4位の規模を誇る造山古墳などに示されるように九州や大和に肩を並べる政治権力や文化があった



### ②岡山城と城下町

- ・ 岡山城と城下町は都市としての岡山のルーツ
- ・ 江戸時代の岡山城下は31万5千石・池田家の城下町で、江戸中期には人口5.3万人の全国屈指の大都市
- ・ 中心市街地の路の多くは江戸時代の道を踏襲。明治以降に堀は埋め立て



### ③児島湾干拓

- ・ 八郎潟干拓、有明海沿岸干拓と並ぶ日本屈指の干拓事業
- ・ 岡山市の面積のうち約1/4は干拓地(約2万ha)
- ・ 大規模土木事業で耕地を拡大し、農業振興
- ・ 堤防や用水路も整備—治水・防災面でも成果—



# 岡山市のプロフィール

## 〇市域の変遷

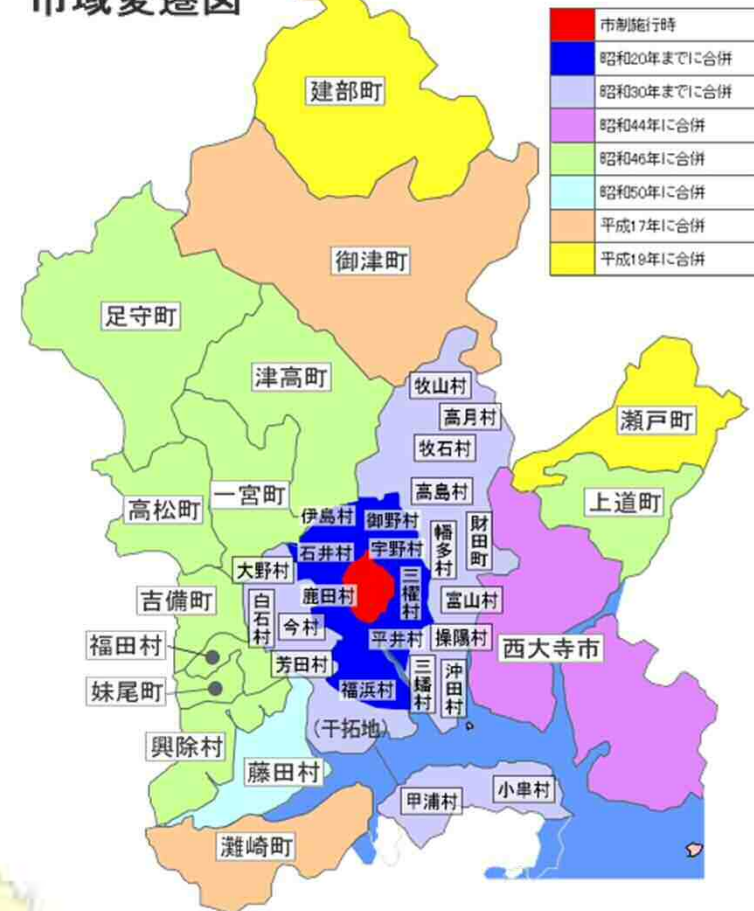
・明治22年の市制施行以来、13回にわたる周辺市町村との合併

・特に昭和44年の西大寺市との合併、46年の9町村(一宮町、津高町、高松町、吉備町、妹尾町、福田村、上道町、興除村、足守町)との合併、50年5月の藤田村との合併によって飛躍的に広がる

・さらに平成17年3月には御津町、灘崎町と、平成19年1月には建部町、瀬戸町と合併し、現在の市域面積は789.92平方キロメートル、旧備前国、備中国、美作国3カ国にまたがる広大な市域となった

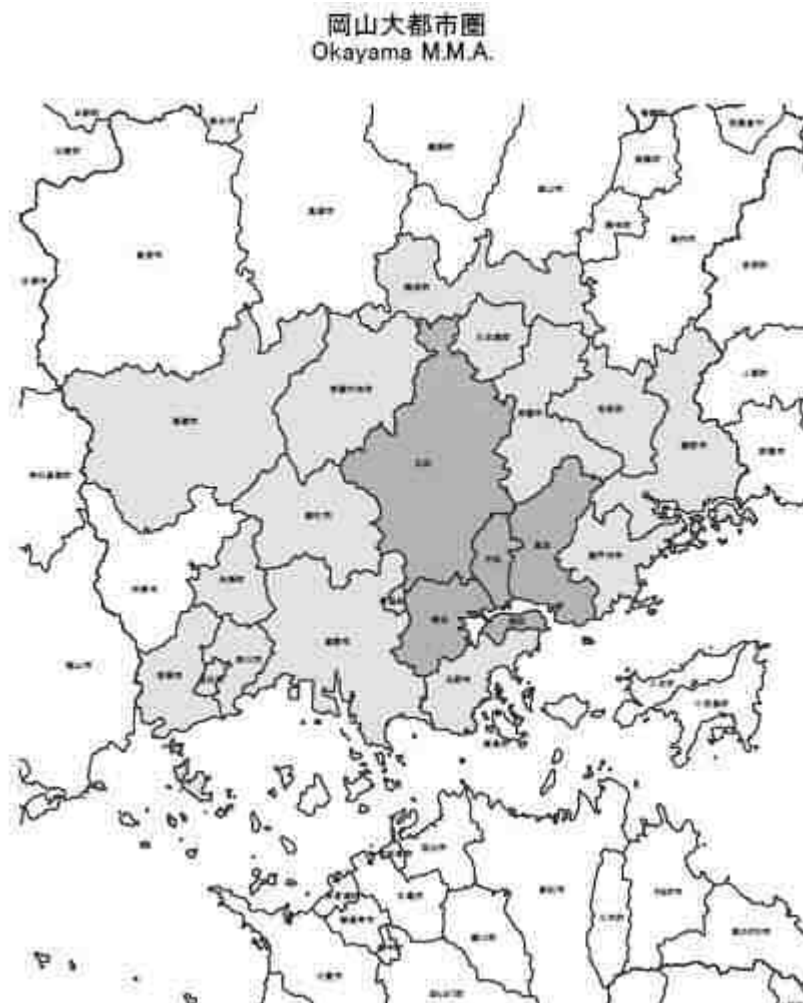
(平成21年4月に全国で18番目の指定都市に移行。北区、中区、東区、南区の4区を設置)

岡山市の市域変遷図



# 岡山市のプロフィール

## □岡山大都市圏



平成22年国勢調査

自治体名	人口(人)
岡山市	709,584
倉敷市	475,513
玉野市	64,588
笠岡市	54,225
総社市	66,201
高梁市	34,963
備前市	37,839
瀬戸内市	37,852
赤磐市	43,458
浅口市	36,114
和气町	15,362
早島町	12,214
里庄町	10,916
矢掛町	15,092
久米南町	5,296
美咲町	15,642
吉備中央町	13,033
計	1,647,892

- ・大都市圏は、「中心市」及び「周辺市町村」によって構成される。
- ・「中心市」は、東京都特別区部及び政令指定市。
- ・「周辺市町村」は大都市圏の「中心市」への15歳以上通勤・通学者数の割合が該当市町村常住人口の1.5%以上あり、かつ、中心市と接続している市町村とする。